

わたしたちは大切な子どもたちのために 大阪府私立高校授業料完全無償化制度素案の再考を求めています

いよいよ夏本番、大阪府の私立学校に通われている生徒の皆さまは、各々の学校の独自の教育のもと、青春を謳歌されていることと存じます。さて、この間、テレビや新聞等で報じられている通り、大阪府の私立高校の授業料無償化制度について、さまざまな情報が飛び交い、ご心配いただいていることかと思えます。そこで、皆さまに現状をお伝えするために、大阪府内の私立中学校、高等学校全校が加盟する本連合会が、意見をとりまとめました。

先般、知事選挙で、大阪府の吉村知事は選挙公約で大阪府の私立高校授業料完全無償化を唱えていました。当然、わたしたちは無償化については賛成しております。ところが、5月9日の大阪府の戦略本部会議で一方向的に提示された案は、驚くべきもので賛同できないものでした。

内容は以下のとおりです。

- ① 授業料無償化の所得制限を撤廃する。ただし大阪府が定める標準授業料60万円を超える部分は各学校が負担する。
- ② 標準授業料との差額が大きい学校は、授業料無償化の推進校から外れるかもしれない。その場合、生徒は大阪府の授業料支援金を全く受け取れない。
- ③ 令和6年度の高校3年生から所得制限を撤廃し、令和8年度に全学年で授業料を完全無償化する。

ただ③については、7月14日現在も詳細は定かではありません。

このことは、現在、私立学校に通われるどの生徒さまにも影響を及ぼすことになります。知事が授業料を一定に設定することは法に抵触しかねない行為であり、決して許されることではありません。

私立学校の授業料は認可が必要で、各学園の授業料は決算書を大阪府に提出しながら、必要があると認められた場合のみ授業料のアップを認められてきました。

しかし、標準授業料(キャップ)を設定されてきたことにより、大阪府によって授業料が値切られていくような形になりますので、当然、今行っている教育の内容・質を下げて運営せざるを得ない状況に陥っていきます。何より困るのは子どもたちです。これは、私学の教育の自由を奪うもので決して許されるものではありません。今まで授業料を上げたくても上げられない、それどころか学校内でやりくりして運営してきたわけです。本来、公立高校の生徒には一人当たり約108万円の教育経費がかかっています。(兵庫県は約117万円)私立学校に通う生徒には、国からの補助金(経常費補助金)が出ていますが、なんと、大阪は全国順位46番目という最下位に近い補助額です。その一方で、公立高校の2極化は進み、高倍率の学校と、定員割れが進む学校が増え、統廃合が進み、公立高校の無い市町村もあります。高倍率の併願校となる私立学校の多くは、補習授業や長時間の授業が展開されていることなどから、比較的高い授業料が設定されています。

ここで問題なのは、標準授業料を超えた授業料を設定している私学が、この制度の授業料支援推進校をやむを得ず抜けた場合、生徒は大阪府の授業料支援金を全くもらえなくなるという悲劇が起こります。せっかく頑張って勉強してきたのに、経済的な理由から選択する学校が一気に減ってしまうのです。これまでの制度であれば、経済的に厳しい生徒を応援するシステムであったのに、全く逆の制度になるのです。

一方で、標準授業料を下回る学校の生徒だからといって安心ではありません。もちろん、むやみやたらに授業料をアップするものではありませんが、諸物価高騰の折、光熱費などのため多少の授業料をアップする際にも、そのキャップによって抑え込まれてしまうために、安全かつ豊かな教育環境の展開が阻まれることとなります。

そこで、わたしたち大阪私立中学校高等学校連合会は、これまでどおり生徒、保護者の皆さまに、安心して満足のいく質の高い私学教育を受けていただけるように、大阪府に対して、キャップ制度のあり方や、標準授業料の設定などについて制度案の問題点の改善を求めています。保護者の皆さまにおかれましてはご理解とご協力をお願いいたします。

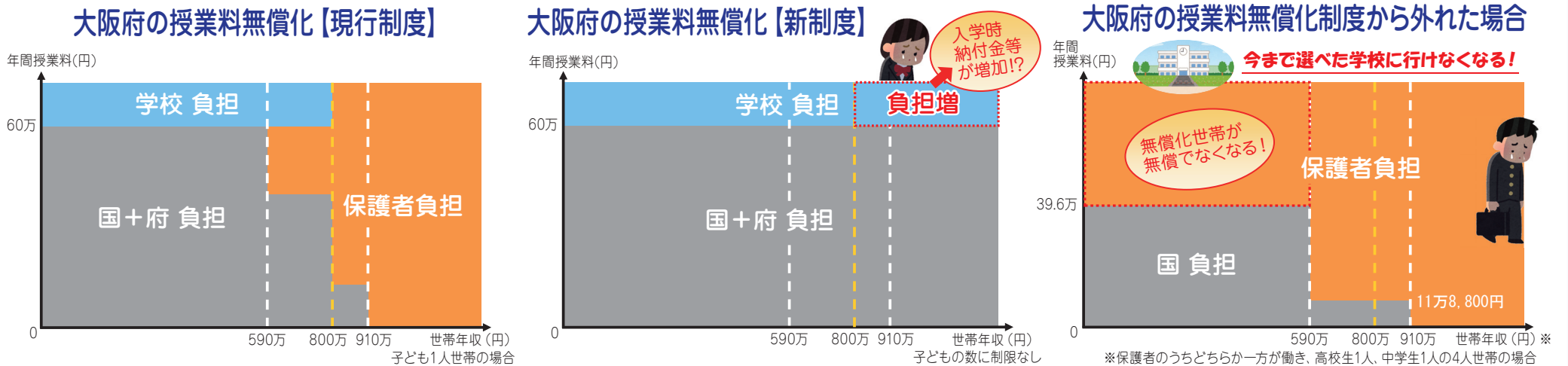
大阪私立中学校高等学校連合会
会長 辻本 賢

豊かな教育環境の維持のためにわたしたちも賛同します。

わたしたち大阪私立中学校高等学校保護者会連合会は、大阪府内の私立中学校、高校に通う生徒の保護者で組織されている連合会です。

このたびの大阪府の授業料完全無償化制度の素案に関して、授業料の無償化にはもちろん賛成ですが、実際に素案を読み解く中で、今まで受けていた教育の中身が維持できない、いままで選択できていた学校が選択できないなど、所得によって学校を選ぶ自由が奪われてしまうという危惧があることから、真摯に制度の設計を考え直していただければとお願いする次第です。子どもたちの明るい未来のために、大阪私立中学校高等学校連合会のご意見に賛同し、共に大阪府に働きかけをしてまいります。ご理解とご支援をお願いいたします。

大阪私立中学校高等学校保護者会連合会
会長 岸本 圭司



経常費補助金一人当たり単価全国順位

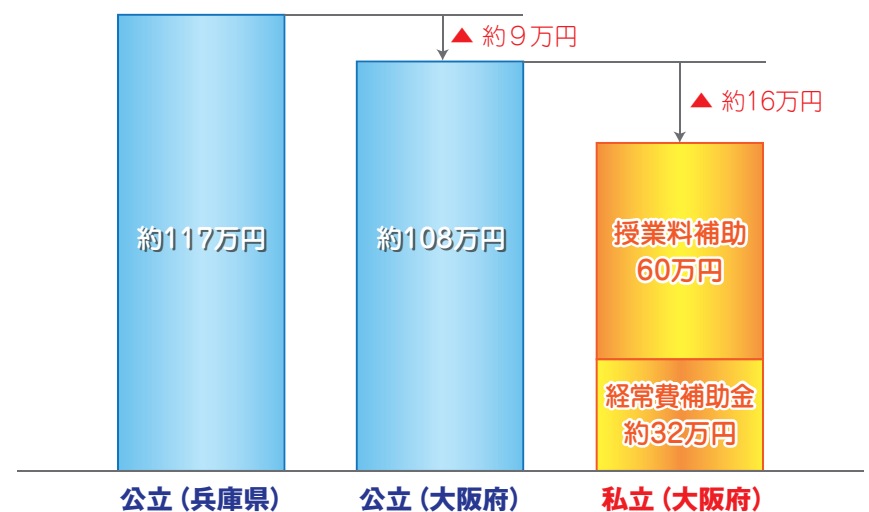
経常費補助金とは、私立学校の教育環境の維持・向上や健全な学校経営のために国から私立学校に支払われる重要な補助金で、国が都道府県に交付し、それを大阪府が私立学校に助成するものですが、残念ながら大阪府に大幅に削減され全国46位になっています

順位	都道府県	金額(円)
1	鳥取	460,904
2	東京都	408,439
3	静岡県	389,710
4	佐賀県	388,127
5	石川県	386,916
6	福島県	379,504
7	千葉県	377,410
8	福岡県	376,240
9	広島県	376,127
10	富山県	374,926
46	大阪府	326,700
47	埼玉県	316,195
単純平均		362,687
国の財源措置		349,910

参考: 日本私立中学高等学校連合会 資料(金額は令和4年度当初予算単価)

私立・公立高校の生徒一人当たり教育経費(公費支出額)比較

60万円以上の授業料の私立高校で、大阪府の授業料補助と経常費補助金を足した場合、生徒一人当たりの教育経費は約92万円となり、公立の教育経費を約16万円下回っています



公立: 令和2年会計年度(令和3年度地方教育費調査)